

タイトル	テンセグリティのテント
提供	藤原 淳 <sup>1)</sup>

テンセグリティ構造は、互いに接触しない圧縮材と連続した引張材により構成されます。通常、引張材にはケーブルのような線材が用いられますが、ここでは引張材として膜材を用いた模型を作成しました。この場合でも、テンセグリティの定義である『自碇したシステム』と『不連続かつ非接触な圧縮材』は満足されていることが分かります。

実際に手に取って圧縮材が接触していないことをご確認し（図 1）、軽く力をかけて構造の剛性と力の流れを体感してみてください（図 2）。



写真 1 模型の内観

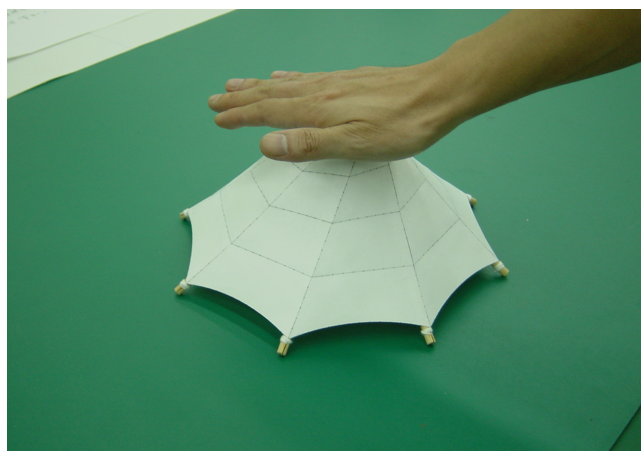


写真 2 上からの荷重に耐える模型

1) 太陽工業株式会社空間技術研究所，主任，博士（工学）